



いしかりちほん

2017年3月1日 自治労石狩地方本部機関紙 17-07号

編集・発行 〒060-0806

札幌市北区北6条西7丁目 自治労北海道本部内

石狩地方本部 上山 謙太郎

011-747-1880

地方財政の確立に向けた取り組み

北海道本部は、2月22日（水）に札幌市・北海道自治労会館において、2017年度道本部自治体財政セミナーを開催し、50単組・120人が参加しました。このセミナーは、地方公共団体の財政を取り巻く情勢を全体化し、自治体財政の歳出構造の見直しや、地方財政の確立に向けた取り組みにつなげるため、例年この時期に開催をしています。



開会にあたり、道本部・難波副執行委員長が「地方交付税が地方固有の財源であること自体知られていないのも現実。改めて地方自治や公共サービスがどうあるべきかを考えるきっかけにしてほしい」などと挨拶しました。

セミナーでは、はじめに、其田茂樹・地方自治総合研究所研究員から「2017年度政府予算と地方財政計画」と題して2016年度政府第3次補正予算、2017年度政府予算、2017年度地財計画と地方財政についてそれぞれ説明がなされました。

次に、辻道雅宣・北海道地方自治研究所研究員から「市町村の財政状況一覧－財政指標の見方」と題して、2015年度の道内市町村の財政状況について、財政指標の見方と併せて説明がありました。

最後に、飛田博史・地方自治総合研究所研究員から「地方交付税制度の問題点とあり方検証」と題して、トップランナー方式の留意点や今後の地方交付税の展望について説明がありました。

各単組・総支部の取り組みをお願いします

北海道本部では、来たる第48回衆議院議員選挙闘争にむけて、政治闘争の意義や重要性などを全組合員に周知するため、各地方本部、単組・総支部段階における政治学習会の企画・開催を提起しています。

石狩地方本部においては、昨年の衆議院北海道5区補欠選挙闘争の際に、青年層、女性をメインターゲットとした学習会を地方本部・地方本部青年部・地方本部女性部の共催で開催しました。石狩地方本部でも、時期や実施方法は未定ですが、改めてこの機会に実施することを検討しています。

しかしながら、多くの組合員に学習の機会を提供するということを考えると、各単組・総支部段階で実施することが重要になってきます。そのため、各単組・総支部段階で学習会を開催することを追求していただきたいと思えます。

各単組・総支部で実施するに当たって不安な事項などありましたら、地方本部書記局へご相談ください。



昨年開催した学習会の様子

2017
国民春闘
スタート!

自治労

「賃金」「生活の質」の底上げを!
公共サービスを担う労働者、地場中小民間労働者、非正規労働者が一体となり、地域から職場から春闘を盛り上げていきましょう。

BOTTOM UP

働く者の生活の底上げを

連合北海道公務・公共サービス労働組合協議会（北海道公務労協）は、2月24日（金）に2017春闘総決起集会を札幌市・北海道自治労会館において開催し、自治労をはじめとした連合に結集する公務・公共サービスに携わる産別の組合員110人が参加しました。

開会にあたり、北海道公務労協・高倉議長が北海道公務労協として公務・公共部門の役割を認識し、春闘に全力で取り組んでいくこととすべての組合員が今春闘に結集することを要請しない、などと挨拶しました。

集会では、北海道公務労協・三浦事務局長（自治労道本部書記長）が、「連合に結集し、月例賃金にこだわり、底上げ・底支え、格差是正をはかる」などとする集会基調を提起し、その後、中央情勢報告として、連合本部公務・公共サービス労働組合協議会・吉澤事務局長から「春季生活闘争における情勢と課題」と題した講演をいただきました。吉澤事務局長は「春の交渉で影響を与えるのはトランプ大統領。改めて正念場である」と強調しました。最後に高倉議長の発声による団結ガンバローを行い、北海道公務労協に結集し今春闘をたたかい抜くことを決意しました。



～石狩管内各単組・総支部の紹介～その①

「いしかりちほん」では、他単組・総支部の状況や取り組みを知っていただこうと、各単組・総支部の紹介を不定期で掲載することにしました。今回はその第1弾をお送りします。

<千歳市職労>

千歳市職労は、2017年1月26日（木）に第66回定期大会を開催し、2017年度の活動を開始しました。執行体制は、新任の大西中央執行委員長以下、20人体制（特別執行委員含む）で、そのうち女性役員は4人となっています。今年度は、役員約半数が改選となったので、今までの活動をしっかりと継承していくことを意識しながら活動をしていかなくてはならないと気を引き締めていました。

今回は、千歳市職労が新たに始めた組合書記局のネット回線を利用してWi-fiの開通を行い、組合員にのみパスワードを交付する取り組みをご紹介します。

組合員の多くがスマホユーザーであることから、Wi-fiフリーであることを周知し、休憩中や時間外等に有効活用してもらおうと、2月から取り組みを開始しました。Wi-fiの繋がる範囲は、食堂および休憩室がある本庁舎地階全域と本庁舎1階の一部等になりますが、教宣紙で周知を図ったところ、かなりの組合員からパスワード交付の依頼があり、好評を博しているとのこと。組合員の福利厚生の上の一環として、また、非組合員との差別化を図る効果も発揮できたことから、小さなことかもしれませんが、これからもこういった取り組みを率先して推進していきたいとのことでした。



<執行体制（四役）>

中央執行委員長	大西 正起(新)
副中央執行委員長	本間 道孝(新)
副中央執行委員長	前本 喬之(新)
書記長	目黒 大輔(再)
書記次長(専従)	片倉 重文(再)
書記次長	田口 智也(新)
書記次長	松山 雄馬(新)

